

大事に使ってください

歳末助け合い義援金贈呈

12月26日(水)、津南保育園から深水瞳くん(古川)と浦田菜奈ちゃん(中尾)の園児2人が来庁し、義援金が町へ贈られました。この義援金は、園児たちのおこづかいの一部を町の活動に役立ててもらいたいという趣旨で行われたものです。

義援金を手渡した後は、瞳くんと菜奈ちゃんは町長とお話を楽しんでいました。また、1月10日(木)には水光社家庭会からも義援金をいただきました。いただいた義援金は町の福祉のために活用されます。皆さん、ありがとうございました。



園児2人から町長へ手渡されました

だれのたこが高く揚がるかな？

1月20日(日)、総合グラウンドで新春親子たこ揚げ大会が開催され、62組の親子約150人が参加しました。これは教育委員会が親子の触れ合いを目的に毎年開催しており、参加者は風呂敷やビニール袋などを使った手作りのたこを持参してたこ揚げを楽しみました。

たこの揚がった高さを競う「高飛び賞」や趣向をこらしたたこを作った組に贈られる「アイデア賞」など、全9部門で表彰が行われました。また、参加した子どもたちには参加賞も贈られ、とても満足そうでした。



グラウンドを駆け回り、たこ揚げを楽しみました



燃え上がるやぐらを見守りました

健康に過ごせますように

津奈木幼稚園どんどや

1月8日(火)、津奈木幼稚園横の広場で正月の恒例行事である津奈木幼稚園どんどやが行われ、1年間の無病息災を願いました。広場に設置された高さ約6mのやぐらに年男が点火してしばらくすると、「パーン」と竹がはじけ、園児たちは驚いた表情をしていました。

やぐらが焼け落ちた後は、参加者は残り火を囲み、工夫を凝らした手づくりの仕かけで、それぞれ家から持ち寄ったもちを焼いていました。もちがこんがり焼き上がると、砂糖しょうゆやきなこなどにつけて、おいしそうに食べていました。

わずか1秒！最後のデッドヒート

熊日三太郎駅伝競走大会開催



2区でたすきを受け渡す津奈木中チーム



ほぼ並んでゴールした津奈木AチームとBチーム

大会成績

一般の部

▼総合

- 1位 水俣市(4時間41分46秒)
- 2位 芦北町(5時間2分23秒)
- 3位 津奈木町(5時間7分59秒)

▼チーム別

- 1位 水俣A(2時間16分28秒)

：

- 5位 津奈木B(2時間33分59秒)
- 6位 津奈木A(2時間34分00秒)

中学の部

- 1位 田浦中(2時間24分46秒)
- 2位 津奈木中(2時間24分52秒)
- 3位 湯浦中(2時間25分13秒)

区間賞獲得者

中学の部

石井魁人(8区)(区間新記録)

永年功績表彰者

出場10回

村上泰央(町中)、福田晃一(丸岡)

1月13日(日)、水俣市役所をスタートし、三太郎峠を越えて芦北町地域活性化センターまでの40.95kmをコースとする、第63回熊日三太郎駅伝競走大会が開催されました。今年の水俣市、葦北郡の1市2町から一般7チーム、高校3チーム、中学8チームが参加。総合成績は、水俣市が3連覇を果たし、津奈木町は3位となりました。

一般の部において、津奈木の2チームは大接戦を繰り広げ、最後はBチームがAチームに1秒差をつけてゴールしました。

3連覇を目指す津奈木中チームは、今回は惜しくも6秒差で田浦中チームに敗れましたが、今回をまた新たなスタートとして、リベンジを果たそうと意気込んでいました。



津奈木中チームアンカー
中村 天斗さん(梁竹)

ゴールを目指して必死に走りました。最後は田浦中に僅差で負けてしまい、とても悔しかったです。来年はリベンジできるよう、部活にも一生懸命取り組みながら駅伝の練習にも励んでいきたいです。



津奈木Bチームアンカー
山崎 貴大さん(竹中)

あいにくの天気ではありませんでしたが、沿道の声援もあり、最後まで走り切ることができました。今回は津奈木同士で大接戦を繰り広げましたが、来年は水俣や芦北チームと上位で競い合えるよう頑張ります。



津奈木Aチームアンカー
宮嶋 弘行さん(梁竹)

今回は津奈木Bチームに追いつき、並んでゴールできたので良かったです。今まで共に練習を積んできて、競い合い、とても良い雰囲気が出ています。今回は津奈木町カラーが出ていて、とても良かったと思います。

各チームアンカーから一言